

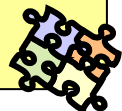
はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2012年10月1日発行

今月から、さんかくカレッジ2012市民企画講座講座がスタートします。パパ向け、親子向け、中高年向けなど、楽しみながら学べる講座がいっぱいです。ぜひ皆さんご参加ください。



来年、2月8日～10日開催の交流イベントの名称が “はもりあフェスタ”に決定しました。



《第1回 企画運営委員会》

9月15日(土) はもりあ四日市3F会議室にて、9つのワークショップ参加グループと個人登録者による企画運営委員会を開催し、イベントの名称が決定しました。内容としては、オープニング、エンディング(映画や講演会)、登録グループによるワークショップ、活動紹介展示、女性の起業を応援するチャレンジショップを行うことに決まりました。

今後、委員さんたちには、3つの部会に分かれ、それぞれを企画・運営していただきます。各部会のみなさま、どうぞよろしく願いいたします。



《オープニング・エンディング部会》



《展示部会》



《チャレンジショップ部会》

～はもりあフェスタ～

ワークショップ

2/8 **金** オープニング

- 「人生イメージ戦略」(企画: シーズネット三重)
- 「女性のための Facebook 初級講座」(企画: 愛ママズIT 倶楽部)

2/9 **土** チャレンジショップ

- 「在宅(独居療養)と傾聴」(企画: 傾聴同好会)
- 親子科学教室「音の不思議を知ろう」(企画: 四日市おもちゃ病院)
- 「性と生、ジェンダー」(企画: 新日本婦人の会四日市支部)
- 「子どもと絵本のひろば」(企画: Can)
- 「楽しくストレッチヨガ」(企画: 楽ヨガ)
- 「シングルマザー実態調査」の報告会(企画: 四日市男女共同参画研究所)

2/10 **日** エンディング

- 「海外から見た地域の暮らし」(企画: 常磐男女共同参画をすすめる会)

さんかくカレッジ2012

子育てパパになろう！！～子どもとのつながり方を学びます～(3回連続講座)



定員:30組 対象:市内在住・在勤の保護者とその子ども(幼児～小学校低学年程度)
時間:9:30～12:00 場所:本町プラザ 費用:500円



1 10月13日(土)
親子で笑顔の輪(和)をつくろう
子どもと遊ぶ楽しさを再発見!

2 11月17日(土)
お面を作って変身!
秋の自然で楽しもう!

3 12月1日(土)
「うちの子大丈夫?」～子育ての
悩み、一緒に解決しませんか?～

親子 お片づけ教室(3回連続講座)



定員:12組 対象:市内の小学生とその保護者
時間:14:00～16:00 場所:本町プラザ 費用:1000円



1 10月27日(土)
整理するってどんなこと?
持牛乳パック、ハサミなど

2 11月17日(土)
机の引出しを片づけてみよう!
持自分の引きだしなど

3 12月8日(土)
自分の物は自分で管理!
持体操服、靴下など

「ヘルサイズのはら」メタボ予防実践プログラム(5回連続講座)



定員:30名 対象:市内在住・在勤・在学の方
時間:10:00～12:00 場所:本町プラザ 費用:1000円



1 10月25日(木)
「メタボリックシンドローム」について
(生活及び食事スタイルチェック)

2 11月22日(木)
「ロコモティブシンドローム」について
(運動活動チェック)

3 12月20日(木)
「嗜好品のカロリー」について
(食事チェック)

4 1月24日(木)
運動講座「貯筋体操」
(ストレッチ・筋トレ・体操等)

5 2月28日(木)
修了式
「これからの健康づくり宣誓」

各講座 10月2日(火)9:00～受付開始

各講座無料託児ありますが、申込が必要です(「子育てパパになろう」は3回目のみ)

詳しい内容の問合せ・お申込は、はもりあ四日市まで 電話 354-8331

ワーク・ライフ・バランスカ(りょく)向上セミナー

【講演会】

10月30日(火) 14時～15時30分

【パネルディスカッション】

11月20日(火) 14時～16時

生産性向上への近道教えます!

「これからの経営に求められること
～社員を生かすマネジメント」

講師:佐々木常夫さん

(東レ経営研究所特別顧問)

「『人を生かす』経営の極意教えます!」

～ワーク・ライフ・バランスの先進企業の取組みを聞く～

パネリスト:(株)長岡塗装店常務取締役 古志野純子さん

(株)たねや代表取締役社長 山本昌仁さん

万協製業(株)代表取締役社長 松浦信男さん

コーディネーター:杉浦礼子さん(高田短期大学准教授)

どちらも

対象:市内事業所の経営者、管理職、総務・人事担当者など 定員:200名

場所:総合会館8階視聴覚室 申込・問い合わせは、はもりあ四日市まで

暴力防止に向けて、こんな活動をしています。

相談室
から

ジェンダー平等教育(デートDV予防教育)出前講座

対象:幼稚園児・保育園児・小学生・中学生

ジェンダーの視点を学び、子どもたちに「ありのままの自分」「ありのままの他者」を受け入れ、表現すること、多様な生き方を尊重できる力(=非暴力の関係づくり)を育むことを目的に行っています。

年齢に合わせた講座を行っています。

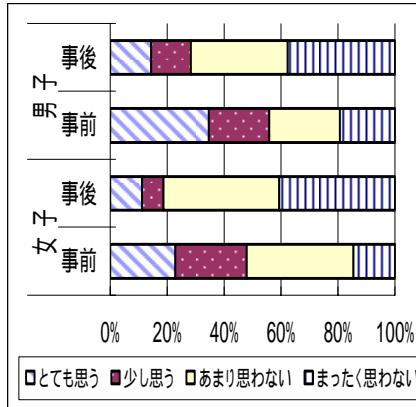
受講した3年生から6年生の小学生に聞きました。2011年11月～2012年2月実施

幼保・小学校低学年は・・・
パネルシアターを使って
小学校中学年以上は・・・
DVDを使って

- ・今年度の幼・保対象出前講座は、人権擁護委員の皆さんに行ってもらっています。
- ・パネルシアター、DVDは、NPO法人SEAN シーンの教材を使用しています。

パネルシアターとは、布を巻いた板(パネルボード)に専用の不織布で作った絵を貼り、お話などを楽しく貼り絵のお芝居のようなものです。

「女の子は、女の子らしく」「男の子は、男の子らしく」している方がいいと思いますか?



事前のアンケートでは、「とても思う」「少し思う」を合わせて「思う」と答えている子が、男女ともに半数いましたが、受講後は半減しています。

自由記述でも、「女の子も男の子もあまり差がなくて、女の子が強くて男の子がやさしくて男別に恥ずかしくがらなくてもいいということがわかった」という意見がありました。

ジェンダーの視点とは・・・

わたしたちは「女らしさ」「男らしさ」という社会からのメッセージの中で育ち、多かれ少なかれジェンダー(社会的・文化的につくられた性差)を身にまといながら、日常を送っています。このことを理解することで、自分の持っている本来の力を発揮したり、他者への偏見や先入観を持って判断することを防ぐことができます。

今月のおすすめ本

今月は、ワーク・ライフ・バランスに関する本を2冊紹介します。

この本は「はもりあ四日市」で貸し出ししています。



『人に必要とされる会社をつくる』

松浦信男 著

三重県の「男女がいきいきと働いている企業」知事表彰を受けた、万協製薬(株)の社長が書いた経営本。

1995年の阪神・淡路大震災で、神戸にあった工場が崩壊。建て直そうとの呼びかけに、従業員からも取引先からもそっぽを向かれ、会社が誰からも必要とされなかったことに気付かされた著者が、「人に必要とされる」方向へと生き方と経営の仕方をシフトし、顧客・働く人・地域を幸せにする会社を作り上げた。なんと売り上げも50倍!その復興の過程がここに記されている。企業経営者はもちろん、そうでない人も著者の生き方に共感すること間違いなしの一冊です。



『ビッグツリー

私は仕事も家族も決してあきらめない』

佐々木常夫 著

自閉症の長男とうつ病の妻を支え、自ら育児、家事、看護をこなしながら、仕事も全力で取り組んできた著者の半生が綴られている。著者は、誰もが何がしかのハンディや悩みを持ちながら生きていることを前提に、お互いを理解し、助け合いながら社会生活を送れたらもっと幸せな社会になるだろうと言う。著者の人生を通してワーク・ライフ・バランスの大切さを実感できる一冊です。

今月のキーワード

イクジイ

みなさんは「イクジイ」という言葉をご存知ですか?あまり馴染みが無い言葉かもしれませんね。

では、「イクメン」はどうでしょう?言葉の意味を知っている方も多いのではないのでしょうか。

「イクジイ」は「イクメン」と似た言葉で、育児に関わる祖父世代のことで、漢字で書くと「育爺」です。「イクジイ」は、これまで日本経済を支えてきた世代で、社会や地域貢献への関心の高い人が多くいます。退職を機に社会的にリタイアをするのではなく、長年の仕事で培った経験や技術を活かし、自分の孫の育児だけでなく、地域の子どもたちにも関わる活動を行うことを目的としています。

現在、「イクメン」という言葉は社会に浸透しつつあり、世間では子育てだけでなく、家事はもちろん、地域行事にもその活動を広げていっているお父さんが増えています。今度は、時間的にも余裕をもった「イクジイ」の出番です。この「イクジイ」たちが、時には「イクメン」と協働して活躍の場を広げていってくれば、より子育てしやすい社会に変わっていくのではないのでしょうか。



登録グループイベント情報

10月12日(金) 童謡の文化の灯を消すことなく歌い継いで行きましょう
 11月9日(金) 歌の輪、声の和で人の輪を広げています
 12月14日(金) 時 10:00~11:30 (自由参加、申込不要)



所 四日市市総合会館、10月は8階第4会議室、11・12月は7階第3研修室
 問 四日市童謡の会 加田淑子 (携帯 090-7616-7941)

11月17日(土) 家事家計講習会「予算ある若い家庭の家計簿は親子の夢が大きく育つ」
 家計簿をつけたいけど続かない人、つけているけど楽しくない人、カードや手元を通らないお金の動きがわからない人、どんな悩みも解決。我が家の予算を立てて来年を安心して暮らしましょう！ご夫婦での参加も歓迎です。



時 10:00~12:00 所 はもりあ四日市3F会議室 費 350円

託児希望の方、託児料300円(軽食含む)

問・申 四日市友の会 寺西 (携帯 090-1238-1024)



12月5日(水) 三重子育てITフォーラム2012in四日市

母達からも大人気の木村まさ子さんを講師に迎えての講演と交流会を開催いたします。

第1部 講演会「女性の・母の精神的自立と子どもとのかかわり方」

第2部 交流会&facebook相談コーナー

時 13:30~16:00 所 四日市文化会館 第3ホール

費 前売り:2,000円 当日:2,500円、地域セミナー一般参加者:1,000円

定 150名(先着順) 託児:500円/人(申込時にお申し出ください)

申 フォーラム専用HP [三重子育てITフォーラム](#) 主催 愛ママズIT倶楽部



登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介していきます。

今回は “**嬢(はばたき)**” さんです。 代表 林 やすこ
 連絡先 090-4236-5034
 メール: habataki@m7.cty-net.ne.jp

「女性も夢を持ってはばたきたい」とメンバーみんなで考えたグループ名“女夢(はばたき)”
 それぞれの気持ちや思いを認め合いながら、住み慣れた地域で、一人ひとりが尊重され、安心して暮らしたいと学習や情報交換を続けています。年を重ねてきた今の関心事は「高齢期の暮らし」。

9月には「老い支度を考える介護情報誌 めくめく」を編集・発行している山下律子さんを講師に迎え、「高齢期の住まい(施設)」をテーマに、施設の種類や選び方、生活支援など、学習会を開催しました。

自分たちの目線を大切にしながら、老い支度を考える講座や活動を創っていきたくないと定例会では、身近な情報を持ち寄り、楽しく話し合いを重ねています。

あとがき

こんにちは！はもりあ四日市の清水です。

9月の第1週に千葉県の市町村アカデミーという研修施設で5日間、男女共同参画について勉強をしてきました。研修には全国各地から多くの人々が参加していたので、さまざまな人達と交流を深めることも出来ました。

研修での経験を今後、はもりあ四日市でも活かしたいと思えます。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml